

「地域への思い」

(名 前) 野田 拓真 さん

(住まい) 東近江市永源寺地区

(仕 事) 版画家

(出身地) 京都市



1 移住したきっかけを教えてください。

京都市の美術大学で版画を専攻し、卒業後に老舗唐紙工房で5年間修行しました。ちょうど独立を考えていたときに両親が、東近江市の永源寺地区の家を紹介してもらいました。ゆったりとした環境、自然の豊かさに惹かれ仕事もしやすいと感じましたし、妻がとても気に入ってくれたので移住を決めました。

2 移住して楽しいことを教えてください。

自然に囲まれた環境がいいですね。のんびりしていて、おおらかで、物事をゆったりと考えることができますし、子育てにもいい所だと思います。移住して5年になりますが、最近は地域の役なども任されるようになってきて大変な反面、信頼されてきたのかなと思っています。

3 移住して大変だったことを教えてください。

両親が二十数年前に永源寺地区に移住してきており、私は高校3年間は永源寺地区で暮らしました。しかし学校と自宅との行き来ばかりでそんなに馴染みがあったわけではないので、住んでいる地域のことは全く分からず心配していました。実際住んでみて感じることは、年に数回あるお寺や神社の行事や古くからの風習についての理解が必要だなと思いました。行事には積極的に参加し、地域の方々との交流を試みっていますが、まだまだ分からないことはたくさんあります。

4 今後の目標は。

自分の仕事面で大きく飛躍したいのはもちろんですが、住んでいる永源寺地区の活性化のことも考えています。少子化や若年層が他所へ出て行くことをふまえて、移住者を受け入れやすい環境をつくることやUターンして来る方に対してもっと魅力ある永源寺地区にできればと思います。

5 移住を考えている方へひとことお願いします。

住みたいと思う家が見つかったとき、家だけでなくその集落をよく散策して、ご近所さんにどんな方がおられるのか、お寺や神社の様子などを見られた方がいいと思います。

住んでからも色んな行事や集落の仕事などに参加して、地域に溶け込もうとすることが大切だと思いますし、古い習慣と新しい考え方をうまく交えながら、それを楽しんでいけるような暮らし方ができればいいと思います。